



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月2日

上場会社名 ジャパンフーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2599 URL <https://www.japanfoods.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細井 富夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 西田 健一 TEL 0475-35-2211  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 2022年11月30日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	5,952	4.6	832	14.9	970	17.3	711	14.4
2022年3月期第2四半期	5,690	△26.0	724	11.6	827	18.2	622	21.3

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 839百万円 (19.4%) 2022年3月期第2四半期 702百万円 (27.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	147.57	—
2022年3月期第2四半期	129.04	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	22,410	8,009	35.7
2022年3月期	22,178	7,291	32.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 8,009百万円 2022年3月期 7,291百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	10.00	—	17.00	27.00
2023年3月期	—	10.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	17.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	9.6	400	—	550	—	450	26.3	93.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	5,100,000株	2022年3月期	5,100,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	277,113株	2022年3月期	277,113株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	4,822,887株	2022年3月期2Q	4,822,887株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての内容等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計上の見積り変更) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症対策の規制緩和に伴う人流の回復等、経済活動の正常化に向けた動きが見受けられました。一方で、ロシアのウクライナ侵攻に起因したエネルギー価格の高騰や日米金利差拡大に伴う円安を背景とした物価高が続いており、個人消費に与える影響が懸念されるなど、依然として経済の先行きが不透明な状況が続いております。

国内飲料業界におきましては、新型コロナウイルス感染症対策の規制緩和に伴う緩やかな人流の回復に加え、6月下旬からの猛暑による市場の押し上げや、冷夏であった前期反動により、業界全体の販売数量は、前年同期比5%増（飲料総研調べ）となりました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は5,952百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は832百万円（前年同期比14.9%増）、経常利益は持分法による投資利益の増加（当第2四半期連結会計期間では46百万円）等もあり、970百万円（前年同期比17.3%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は711百万円（前年同期比14.4%増）となりました。

当社グループでは、「ふ・け・か（防ぐ・削ぐ・稼ぐ）」を更に進化させた「品質経営」を全社推進し、製品・サービスと業務プロセスの品質を高め、無形資産の最大活用に伴うあらゆる生産性の向上、新製品の積極受注や新たな販売領域の創出により、収益を最大化し、財務体質の改善に努めております。

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりであります。

#### (国内飲料受託製造事業)

国内飲料受託製造事業につきましては、ウクライナ侵攻に起因した原油価格の上昇等がありましたが、新型コロナウイルス感染症対策の規制緩和に伴う緩やかな人流の回復に加え、猛暑による市場の押し上げ等もあり、生産性の向上と積極的な受注活動を行った結果、当第2四半期連結累計期間における受託製造数は22,645千ケース（前年同期比5.2%増）、セグメント利益は860百万円（前年同期比25.4%増）となりました。

#### (海外飲料受託製造事業)

海外飲料受託製造事業（中国、連結対象期間：2022年1月から6月期）につきましては、事業が好調に推移した一方で、新ライン増設に伴うコストが増加したことにより、セグメント利益は87百万円（前年同期比30.0%減）となりました。

#### (その他の事業)

水宅配事業及び水宅配フランチャイズ事業等につきましては、ボトルドウォーターの価格改定等により、セグメント利益は23百万円（前年同期比39.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、4,893百万円となり、前連結会計年度末に比べて880百万円増加いたしました。これは主に、電子記録債権が増加したことによるものであります。

固定資産は、17,516百万円となり、前連結会計年度末に比べて647百万円減少いたしました。これは主に、固定資産の減価償却によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、3,952百万円となり、前連結会計年度末に比べて761百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が増加したものの、短期借入金や未払金が減少したことによるものであります。

固定負債は、10,449百万円となり、前連結会計年度末に比べて276百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金の増加によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、8,009百万円となり、前連結会計年度末に比べて717百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、本日(2022年11月2日)公表いたしました「第2四半期累計連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ」をご参照ください。

今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは2021年3月期、及び2022年3月期の2期連続して経常損失等を計上し、取引金融機関と締結している一部の長期借入金契約に付された財務制限条項に抵触致しましたが、当該事由を以っては期限の利益喪失の権利行使をしないことについて各金融機関から承諾を得ております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,079,826	1,259,977
電子記録債権	699,530	1,803,736
売掛金	1,802,327	1,477,707
商品及び製品	56,570	75,845
原材料及び貯蔵品	157,715	151,590
その他	217,783	125,077
流動資産合計	4,013,754	4,893,935
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,710,516	15,678,059
減価償却累計額	△7,720,769	△7,934,826
建物及び構築物(純額)	7,989,746	7,743,233
機械装置及び運搬具	30,062,717	29,250,321
減価償却累計額	△23,386,545	△23,141,944
機械装置及び運搬具(純額)	6,676,171	6,108,377
工具、器具及び備品	990,491	969,615
減価償却累計額	△770,364	△783,437
工具、器具及び備品(純額)	220,127	186,177
土地	484,898	484,898
リース資産	515,138	536,338
減価償却累計額	△105,265	△132,153
リース資産(純額)	409,873	404,184
建設仮勘定	21,044	18,059
有形固定資産合計	15,801,861	14,944,930
無形固定資産	492,456	451,563
投資その他の資産	1,870,609	2,120,471
固定資産合計	18,164,928	17,516,966
資産合計	22,178,682	22,410,901

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	767,191	811,482
短期借入金	500,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,922,104	1,940,864
リース債務	74,132	77,589
未払金	1,111,929	628,727
未払法人税等	17,233	286,664
賞与引当金	—	45,184
その他	321,259	162,101
流動負債合計	4,713,851	3,952,614
固定負債		
長期借入金	8,710,274	9,003,892
リース債務	314,824	294,105
固定資産撤去費用引当金	396,000	396,000
退職給付に係る負債	99,009	99,911
資産除去債務	652,849	655,067
その他	9	39
固定負債合計	10,172,966	10,449,016
負債合計	14,886,818	14,401,630
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	628,800	628,800
資本剰余金	272,400	272,400
利益剰余金	6,281,438	6,870,895
自己株式	△264,624	△264,624
株主資本合計	6,918,014	7,507,470
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	382,432	518,066
退職給付に係る調整累計額	△8,582	△16,266
その他の包括利益累計額合計	373,849	501,800
純資産合計	7,291,864	8,009,271
負債純資産合計	22,178,682	22,410,901

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	5,690,663	5,952,679
売上原価	3,939,042	4,134,549
売上総利益	1,751,621	1,818,130
販売費及び一般管理費	1,027,209	985,707
営業利益	724,411	832,422
営業外収益		
受取利息	—	25
受取配当金	1,567	—
持分法による投資利益	132,770	103,474
補助金収入	13,880	56,253
その他	17,700	27,125
営業外収益合計	165,918	186,878
営業外費用		
支払利息	48,588	40,392
支払手数料	8,956	3,669
その他	5,334	4,824
営業外費用合計	62,880	48,886
経常利益	827,449	970,415
特別利益		
固定資産売却益	—	2,533
特別利益合計	—	2,533
税金等調整前四半期純利益	827,449	972,948
法人税等	205,112	261,249
四半期純利益	622,336	711,698
親会社株主に帰属する四半期純利益	622,336	711,698



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	622,336	711,698
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,875	—
退職給付に係る調整額	4,105	△7,683
持分法適用会社に対する持分相当額	55,668	135,633
その他の包括利益合計	80,649	127,950
四半期包括利益	702,986	839,649
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	702,986	839,649

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(有形固定資産の耐用年数の変更)

当第2四半期連結累計期間において、総合スクラップ&ビルド計画の対象となる資産の使用状況等を見直した結果、当社グループが保有する一部の有形固定資産の耐用年数を残存使用見込期間まで変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ30,587千円増加しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分析情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注2)	合計	調整額 (注3)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注4)
	国内飲料 受託製造	海外飲料 受託製造 (注1)	計				
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	5,622,521	—	5,622,521	68,142	5,690,663	—	5,690,663
外部顧客への売上高	5,622,521	—	5,622,521	68,142	5,690,663	—	5,690,663
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	—	4	2,512	2,517	△2,517	—
計	5,622,526	—	5,622,526	70,654	5,693,181	△2,517	5,690,663
セグメント利益	685,987	125,467	811,454	17,091	828,546	△1,097	827,449

- (注) 1. 「海外飲料受託製造」は、持分法適用会社で構成されております。  
 2. 「その他」の区分は、水宅配事業、水宅配フランチャイズ事業等を含んでおります。  
 3. セグメント利益の調整額△1,097千円は、セグメント間取引に係る未実現利益の消去等であります。  
 4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分析情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注2)	合計	調整額 (注3)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注4)
	国内飲料 受託製造	海外飲料 受託製造 (注1)	計				
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	5,880,075	—	5,880,075	72,604	5,952,679	—	5,952,679
外部顧客への売上高	5,880,075	—	5,880,075	72,604	5,952,679	—	5,952,679
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16	—	16	929	945	△945	—
計	5,880,091	—	5,880,091	73,533	5,953,625	△945	5,952,679
セグメント利益	860,328	87,824	948,152	23,820	971,972	△1,557	970,415

- (注) 1. 「海外飲料受託製造」は、持分法適用会社で構成されております。  
 2. 「その他」の区分は、水宅配事業、水宅配フランチャイズ事業等を含んでおります。  
 3. セグメント利益の調整額△1,557千円は、セグメント間取引に係る未実現利益の消去等であります。  
 4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の耐用年数の変更)

「会計上の見積りの変更」に記載のとおり、第1四半期連結累計期間において、総合スクラップ&ビルド計画の対象となる資産の使用状況等を見直した結果、当社グループが保有する一部の有形固定資産の耐用年数を残存使用見込期間まで変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益が、「国内飲料受託製造」で30,587千円増加しております。